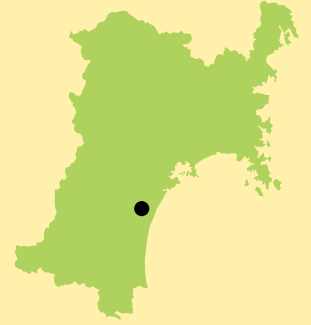



株式会社 登米ブラス



- 本社所在地 宮城県名取市上余田字千刈田 543-1
- 主な事業内容 樹脂・非鉄金属精密加工品及び印刷加工品の製造
- 従業員数 30人



 **健康経営優良法人認定**
2020～2023 認定
(2022 はブライト 500)

健康経営に取り組むきっかけ

2019年に代替わりし、程なくしてコロナ禍に陥り、状況が一変しました。半導体不足から繁忙期が続いたこともあり社員にストレスが掛かり、離職者も出てしまいました。代替わりしたばかりで「仕事が単なる作業になりつつあったのか」、「将来設計が描けない会社だったのか」と悩んでいたところ、ある遊具製造企業の方に『健康経営』を紹介されました。「従業員の満足度が高い企業は生産性が伸びる」、「社員の健康やコミュニケーションを解決している企業は、業績も良い」との考えに至り、私たちが実践してみよう『健康経営』の導入を決断しました。



各種認定証

離職者が出た頃は、生産の主な3部門である工作機械・マシニング・NC 施設に「この人がいないと機械が動かせない」という技術の偏りがあり、特定の社員にメンタル的な負荷を掛けていました。今は製造工程ごとにグループ分けし、特定の社員に負担が集中しないようにしています。

取り組みの課題

当社の社員の平均年齢は40歳と全国の製造業の平均年齢より若いのが特徴です。年齢の高い社員は健康意識の改善が進みましたが、20代の社員にはなかなか浸透せず、健診で悪い数値が出ないと「ダイエットのために歩いてみよう」など行動に移せないのが課題です。喫煙や飲酒で健診結果に引っかかる社員がいる場合には、禁煙外来へ行くことを勧めたり、「休肝日を設けましょう」とメッセージを送っています。

取り組みの効果

全社重点方針のテーマの下、社健診で指摘を受けた社員の中には、糖質制限や野菜中心の食生活を実践したり、ウォーキングなどの運動を行ったりする姿が見受けられます。

会社としてもボウリング大会や、コミュニケーションのための花見・親睦会などを実施し、社員同士の親睦を深めるようにしています。



注力している取り組み

まず、社員が健康を維持し、働きやすい環境を作ることを意識しました。定期健診の受診率はずっと100%でしたが、メタボリックや高血圧で指導を受ける社員も散見されたため、食生活の改善と運動の推奨から始めました。特に、朝食を抜く社員がいるので、2か月に一度、野菜中心でカロリー表示のある弁当を提供する食事を開き、栄養を意識する機会を作っています。また、社内の清涼飲料水の自動販売機は撤去し、代わりに水素水浄水器を設置することで、マイボトルに入れて飲む習慣も浸透して来ました。



水素水浄水器

職場環境と女性の労働環境改善にも注力しています。当社の工作機械を扱う現場では、以前から女性を多く採用しており、社員の65%を占めています。女性が働きやすい職場への改革を進め、産前産後休暇や生理休暇をはじめ、介護休暇や子育て休暇の取得促進など、社員個人への配慮はもちろん、社員の家族にも配慮した制度づくりを進めています。これは、社員同士で仕事を調整し合い、生産スケジュールを社員の自主的な管理に任せることで実現しました。以前は、土曜日出勤をシフト制にしていたのですが、社員の「週末にリフレッシュしたい」という要望を汲み、一日あたりの就業時間を少し長くすることで調整し、現在は完全週休二日制となりました。

今後の展望をお聞きました！

社員が心身ともに健康であって欲しいと願っていますが、万が一病気になっても心配することなく仕事と生活を両立できるように、社労士・医療機関・企業が連携し、職場環境を整備する必要があります。また、健康経営を通じて、社員一人ひとりが各家庭・周りの方々に健康の大切さを発信できる存在になって欲しいと思います。健康経営優良法人「ブライト500」の認定は、会社のイメージに大きなプラスとなっており、今後も引き続き、認定を受けられるよう取り組んでいきたいと思っています。



代表取締役
武山祐樹 氏